

第2回鹿児島地区合併協議会会議結果

日時 平成15年2月14日(金)午前10時

場所 鹿児島東急イン2階ペガサスの間

1 開 会

2 会長あいさつ

・委員から、案件の内容によっては、次の協議会で決定できない場合も想定されるが、再持ち帰りもあり得ることを確認したい旨の発言あり。これに対し、会長から、原則として次の協議会で決定するが、言われるようなことは当然ありうる旨の説明あり。

3 報 告

(1) 鹿児島地区合併協議会の会長の職務代理について

会長から、四元泰盛松元町長を指名した旨を報告。

4 議 事

第9号議案 合併の期日について

委員から、平成16年11月1日を目標とするとした本旨、留意点とした事項が理由となるのか、事務的に間に合うのか、住民への周知、意見聴取の方法、今後の協議スケジュール、合併期日と首長選挙との関係について質問あり。

これに対し、事務局から、想定し得ない不測の事態が生じた場合への対応として「目標」としたこと、留意点を踏まえて合併期日を提案したこと、

協議会を設立する以前の準備段階から課題等について検討を進めてきていることから達成できると考えている、合併協議会として、また1市5町それぞれで節目節目での説明、広報をすること、首長会等で協議することになるので、現時点では明確にできない旨を説明。また、会長から、任期の関係から11月の合併であれば、市長選挙は合併後のすべての住民に選挙していただけることになるので、そのことも一つの要素である旨の説明あり。

委員から、合併期日の設定にあたっては住民の意向把握がポイントになると思うが、そのことを留意点としなかった理由について質問あり。

これに対し、事務局から、住民のコンセンサス形成は重要なことであり、十分に住民の意見等を聞いていくことになるが、合併期日の提案をする上での留意点として上げたものである旨の説明あり。

以上のような質疑の後、継続協議とすることを確認。

第10号議案 市町村建設計画の原案策定方針について

委員から、シナジー（相乗）効果が現れる合併にすべきであること、地域の特性に応じた機能分担を明確に出すべきであること、目標設定にあたっては配慮が必要であること、産業構造のバランスを図っていく方向性が必要であること、既存ストックを生かしたソフト施策の展開が重要である旨の発言あり。

これに対し、会長から、公共施設の整備等については、既存施設の活用が重要な観点であると考えている旨の説明あり。

委員から、市町村建設計画の提案スケジュール、合併協定項目と同計画との関係、計画期間の考え方について質問あり。

これに対し、事務局から、策定方針決定の後、素案を6ヶ月程度かけて作成・公表、住民説明会での意見を反映させて原案を作成するが、10月から11月頃になること。原案についても公表し、住民説明会での意見を反映させ市町村建設計画案としたい、合併協定項目で調整した内容も同計画の中に入れてくること、合併後のまちづくりの検証という観点や合併特例債の期間を考慮して同計画の期間を10ヵ年と提案した旨の説明あり。

以上のような質疑の後、継続協議とすることを確認。

5 その他

・委員から、学識経験者の若い世代の登用についての協議状況について質問あり。これに対し、事務局から、現在検討を進めている旨の説明あり。

次回の開催について

事務局から、3月27日（木曜）午後3時30分から「かごしま市民福祉プラザ」で開催予定である旨を報告。

6 閉 会